

オードリー・ヘップバーン

菜穂：ねえ博士。博士はイライザ役のオードリーをどう思ってるの？

博士：私は「ローマの休日」以来、ヘップバーンの大ファンだからね。崇拜していると
もいえるぐらいだ。でも彼女はコヴェントガーデンの汚く下品な花売りの役には、
そぐわないように思うよ。たしかに彼女はシンデレラ物語にはよく登場する。「麗
しのサブリナ」の場合でも、最初はお抱え運転手の貧しい娘だが、可憐な娘であ
り、下品というのではない。またトランシルバニア大使館の舞踏会のシーンでも、
少しやせぎすで、若々しさや健康的な美しさが不足しているように感じたんだ。
なんと言っても撮影当時 35 歳だからね。ジュリー・アンドリュースが出ていれ
ば……と思わないでもないね。

菜穂：でも、「マイフェア」はヘップバーンの代表作なんでしょう。

博士：代表作かどうかは人によって意見は違うだろうけど…。私だったら、他の作品を
あげたいね。たしかにお金のかかった、良質な大作だと思うけれど、でも個人的
には「昼下がりの情事」「暗くなるまで待って」「麗しのサブリナ」、そしてなん
と言っても「ローマの休日」が一押しだね。

菜穂：ふ～ん。

博士：彼女の喋っている英語を一言漏らさず聞き取ろうと何度も同じ映画を見にいった
ものだ。これが英語を勉強する原動力になったような気がする。

菜穂：こりゃメロメロだね……。